

GOCA ニュース from おおた

一般財団法人 国際都市おおた協会

第9号 - 2021.03. -

〒143-0023 東京都大田区山王二丁目3番7号
大森まちづくり推進施設4F
TEL.03-6410-7981 FAX.03-6410-7982
MAIL:info@ota-goca.or.jp
URL:https://www.ota-goca.or.jp



コロナ禍における多言語相談

～ 2020 年度多言語相談窓口から見えてきたもの～

国際都市おおた協会 (GOCA) 多言語相談窓口は、外国人区民が日常生活における困りごとを多言語で相談できる窓口として大田区消費者生活センター1階に開設しており、年間、約2,000人の方が相談に訪れます。昨年春より続く「新型コロナウイルス」の影響について、統計から見えてくる傾向について報告します。



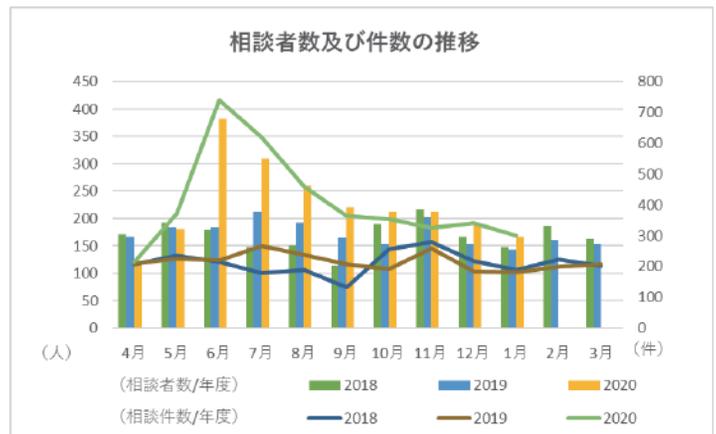
相談者数及び件数の推移

2020年4月から2021年1月末までの相談件数は4,089件で、昨年同時期の約2倍でした。また、相談者の国籍別では、中国、フィリピン、ネパールが多く、全体の約70%を占めます。

	相談者数	相談件数
2018年度	2,029人	2,519件
2019年度	2,073人	2,586件
2020年度	2,251人	4,089件

(2020年度は1月末まで)

右の図の通り、1回目の緊急事態宣言解除後の6月に相談件数が急増しました。その後緩やかに減少していますが、例年比では相談者数、件数とも高くなっています。



主な相談内容について

相談内容	計
新型コロナウイルス	930件
住宅	394件
医療/保険	341件
労働	293件
生活・福祉	280件
翻訳依頼	222件
子育て/出産	196件
税金/年金	188件
在留資格/ビザ	181件
教育/学校	151件
日本語教育	124件
結婚/離婚	111件
住民登録・変更	76件
DV	56件
その他	546件
合計	4,089件

新型コロナウイルス関連の相談が最も多く、全体の約23%を占めています。次いで住宅、医療/保険、労働、生活・福祉と、コロナの影響を受けた相談が多くなっています。

寄せられた相談内容の一部を紹介します。

- 定額給付金を申請したいので、記入を手伝ってほしい。
- コロナの影響で失業し、生活に困窮している。家賃を払うことができなくなった。どうしたらいいか。
- 急に解雇されたが、雇用保険に入っていなかった。失業保険は受けられるか。
- 家族滞在資格の娘が帰国したまま再入国できない。在留期限が迫っているがどうしたらいいか。

困っている外国人区民がいらっしゃいましたら、多言語相談窓口をご案内ください。また、外国人に係るご相談にも応じますので、日本の方もお気軽にご相談ください。

※相談件数は重複あり

多言語相談窓口のスケジュール / アクセス

英語	月、火、水、金	10:00
中国語	月、火、木、金	
タガログ語	月、金	}
ネパール語	水	
ベトナム語	木	

大田区蒲田 5-13-26 消費者生活センター1階

☎03-6424-8822

Email: info@ota-goca.or.jp

詳細はこちら



初級英会話講座



開催日

2020年10月31日～12月5日

国際交流ボランティアのテイラー・ドリュースさん（カナダ出身）を講師に迎え、英語力初級レベルの方を対象に英会話講座を開催しました。授業は英語のみで行われ、相手への質問の仕方や学んだり、休日の過ごし方を英語で説明したりしました。テイラーさんの話がとても面白く、なごやかな雰囲気の講座となりました。



参加者の声

- ・講師が楽しい方で毎回楽しみでした。
- ・英語を話す機会がないので、話せてよかったです。



日本語ボランティアステップアップ講座

開催日

2020年12月12日,19日,26日

地域のボランティア日本語教室で活動している方や日本語ボランティアの経験がある方を対象としたスキルアップ講座を開催しました。

今回は「コミュニケーション力をつける教室活動」と「気づきを促す文法支援」を講座のテーマとして掲げ、全3回の講座では、日本語教師の経験が豊富な講師から、すぐに使える具体的な支援方法を沢山教えていただくなど、とても実りのある講座となりました。受講生たちの今後のさらなる活躍に期待です。



参加者の声

- ・わかりやすく、取り入れたいと思える内容だった。
- ・実践的な話で、今後の活動にとても役に立つと思った。
- ・具体例が多くて理解しやすかった。



効果的なオンライン日本語レッスンのためのスキルアップ講座

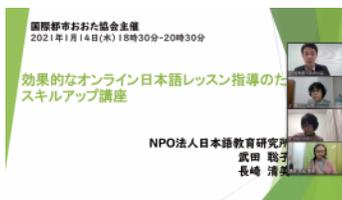
開催日

2021年1月14日,28日

長らく続くコロナ禍にあって、オンラインでの日本語指導はますます増えていくことが予想されます。そんな中、GOCAでは、オンライン日本語レッスンならではの効果的な手法やノウハウを学ぶ講座を開催しました。

講座では、日本語指導経験が豊富な9名の方が参加し、オンライン日本語レッスンの現状、ZoomやSkypeの効果的な活用方法、様々な日本語学習ツールやオンライン教材の特徴などを学びました。また、参加者自身が作成したオンライン教材をもとに、一人ひとり模擬授業を行ったり、全員で意見交換を行ったりと、具体的かつ実践的な講座となりました。

参加者には、オンラインを活用した外国人支援をより拡げるなど、今後の活躍が期待されます。



参加者の声

- ・今後は対面授業だけでなく、オンラインレッスンにもぜひ取り組んでいきたい。
- ・今実施しているオンライン指導の幅が広がった。
- ・とても参考になった。今後もこのような講座を定期的に開催してほしい。



災害時外国人支援ボランティア向け 翻訳訓練・講座

災害時外国人支援ボランティアを対象に翻訳訓練と翻訳講座を行いました。

訓練では、コロナ禍で水害が起こったときの避難方法を「やさしい日本語」と「外国語」に翻訳し、外国語翻訳はネイティブ翻訳者が添削したものを返却しました。

講座では、防災士であり翻訳コーディネーターでもあるペルー出身の講師カブレホス セサル氏（ランゲージワン株）を招き、災害時に外国人が置かれる状況、翻訳時のポイント、注意事項等について講義していただきました。



開催日

2021年2月27日



参加者の声

- ・災害に関する情報を外国人に伝えることが、極めて難しいことを認識しました。
- ・やさしい日本語への変換は、言葉だけではなく絵や図をうまく使うとより理解しやすいことが分かりました。
- ・翻訳する時、自分がよかれと思い勝手に情報を足したり引いたりすることは良くないことであると、改めて気付くことが出来ました。

講座

今後の予定

※新型コロナウイルスの影響で変更となる場合があります。その際は、GOCAのホームページやSNSでお知らせします。

【講座の対象は原則、大田区在住・在勤・在学の方。その他の方は要相談】

おおたこども日本語教室

蒲田教室 月火木 9:00 ~ 12:00
大森教室 月水木 9:00 ~ 12:00

大田区在住で日本語が不自由で未就学の子どものための日本語教室です。蒲田と大森の2か所で開講中です。期間は入室から6か月以内、費用は無料です。

【蒲田教室】

場所：消費者生活センター 1F mics おおた教室
(蒲田 5-13-26)

申込先：一般社団法人レガートおおた
電話：03-6424-8822 FAX: 03-5710-6330

【大森教室】

場所：山王会館 (山王 3-37-11)
申込先：NPO 法人日本語ぐるりっと
電話、FAX 03-5709-1347

※申込先に直接連絡してください。



初級日本語講座

2021年4月11日～6月6日 (5月2日を除く)
毎週日曜日 13:00 ~ 15:00 (全8回)

ひらがな・カタカナの読み書きが苦手な人や初めて日本語を勉強する人のためのクラスです。コロナ禍のため、教室またはオンラインのどちらかを選ぶことができます。

【勉強すること】

- ・生活のための会話 (役所、病院、郵便局、銀行、電車、買い物、災害・緊急・トラブルのときの日本語と対応方法など)
- ・ひらがな、カタカナの読み書き

場所：JR 蒲田駅 東口から徒歩から5分
消費者生活センター 1F mics おおた教室
(大田区蒲田 5-13-26)

対象：大田区在住・在勤・在学の16歳以上
受講料：1,500円 (テキスト・資料代)



こども学習支援ボランティア養成講座

2021年6月～7月 (全5回)

大田区の小中学校に通う外国人の子どもは増えており、日本語の習得とともに学習面でのサポートが大切です。そこで、子どもの学習支援を行うボランティアを養成する講座を開催し、修了後は8月開催予定の「夏休み学習教室」で実際に日本語を勉強中の子ども達に夏休みの宿題をサポートしていただきます。

場所：国際都市おおた協会 5階 会議室
(大田区山王 2-3-7)

※詳細はホームページをご覧ください。
(5月上旬以降に掲載予定)



【お申込・お問合せ】

TEL : 03-6410-7981

Email : mail@ota-goca.or.jp

<https://www.ota-goca.or.jp/>

ホームページ申込フォーム、FAX (03-6410-7982) または窓口でお申込みください。

ご質問・ご不明点は上記にお問合せください。たくさんの方のお申込・ご参加をお待ちしています。



国際交流ボランティアの紹介



デービッド・ローリーさん (アメリカ出身)



GOCA では、講座やイベントで活躍していただく国際交流ボランティアを随時募集しています。今回は、アメリカ出身で国際交流ボランティアとして活躍されているデービッド・ローリーさんにお話を伺いました。

🌿 日本に来られてどれくらいが経ちますか。

→1985年に日本人の妻と結婚してから、2年程、大阪に住んでいました。その間は、大阪の駿台外国語専門学校で英語を教えていました。その後、アメリカに帰国し、カリフォルニア州に住んでいましたが、2009年以降は、英語教師としてサウジアラビアに6年、中国に1年程滞在しました。2015年に再来日してからは、ずっと東京に住んでいます。今現在は、既に定年を迎えているので、旅行、読書、映画鑑賞など、趣味の時間を楽しんでいます。

🌿 日本の好きなところを教えてください。

→旅行が好きなので、日本では北は北海道から南は沖縄まで、様々な場所を何度も訪れましたが、その中でも特に熊本や長崎が大好きです。日本食も大好きです。また、電車や新幹線、飛行機といった交通機関が非常に発達している点や接客マナーが非常に素晴らしい点もとても魅力的だと思います。

🌿 大田区のどんなところが好きですか。

→大田区の好きなところはたくさんあります。特にお気に入りの場所は多摩川です。私自身は、幸いにも多摩川の近くに住んでいるため、多摩川の景観を楽しみながら散歩するのが日課となっています。また、立地が良いことも大田区の大きな魅力の一つだと思います。羽田空港に近く、都心部や横浜への交通の便も非常に良いですし、区内には飲食店や買い物をする場所も豊富にあるので、生活には全く困りません。にも関わらず、大田区の物価が安いことは、都内の他の区にはあまりない特長だと思います。

🌿 国際交流ボランティアをどうやって知りましたか。現在は、ボランティアとしてどのような活動をされていますか。

→2020年秋頃にGOCAが開催した日本語講座に参加した際に、ボランティア制度を紹介していただいたことがきっかけです。今現在は、先日(3月9日)開講した中級英会話講座のボランティア英語講師として、住民の方々と触れ合っています。



🌿 コロナ禍では、ほぼ全ての人が大変な状況にあると思いますが、日本に住む外国人に対してできるボランティア活動にはどんなことがあると思いますか。

→個人的には、日本語学習の支援がとても重要だと思います。日本に住む多くの外国人にとって、日本で生活や仕事をする上で、最も大きな壁が日本語だと思います。個別支援や対面での支援が望ましいですが、コロナ禍ですので、最近ではZoomやSkype等のオンライン支援も有効だと感じています。1~2週間に1回の短い授業があるだけでも良いと思います。

また、授業という形式にこだわらず、日本人外国人問わず、誰もが気軽に訪れることができ、交流できるような居場所も必要だと思います。

🌿 今後、国際交流ボランティアとして、どのようなことにチャレンジしていきたいですか。

→一定年を迎えた方や高齢者の方で、英語を学びたいと考えている方はとても多いと思います。私が知る限り、彼らは時間的にも余裕があって、異文化を学ぶ意欲もとても高いです。私自身は、そういった方々に英語を教えたり、アメリカの文化を紹介したり、外国にルーツがあるという強みを生かした活動をしていきたいと思います。また、何かしらのハンディキャップのある方や困っている高齢者に寄り添えるような活動に参加していきたいと思っています。



あなたも国際交流ボランティアに登録しませんか？詳細については、協会ホームページをご覧ください。



<https://www.ota-goca.or.jp/volunteer/>